

ねいの里 ホオホオニュース



2009年のアサギマダラ・マーキング

富山アサギマダラ調査グループ

今年で8年目を迎えた当グループの活動は、毎年県外で再捕獲があるなど、大きな成果をあげています。過去3年は次のとおりです。

回数	年	調査参加者 (登録者数)	マーキング数 (捕獲数)	県外で再捕獲 されたもの	再捕獲したもの (県外で放蝶)
第6回	2007年	38名	423	5	2頭
第7回	2008年	35名	530	4	1頭
第8回	2009年	40名	506	4	0

1 今年の捕獲時期

今年の最も速い捕獲 7月4日 有峰東谷 ♂ 玉川治之さん

今年の最終捕獲 10月3日 立山山麓家族旅行村 ♂ 澤田研太さん

2 捕獲場所

有峰及びその周辺で最も多くマーキングしました。特に有峰東谷周辺が集中していました。その他の地域では、黒部市僧ヶ岳・嘉例沢・朝日町鳥帽子山付近・白木峰などで捕獲放蝶しました。

3 有峰での放蝶イベント

2008年9月6日(日)、「有峰の自然を探る」において、ベテランやジュニアナチュラリスト30名の参加を得て、有峰一帯で行いました。その結果、168個体にマーキングしました。

4 今年の再捕獲データ

(1) 県外で再捕獲されたもの

8/19	有峰東谷	→	10/11	兵庫県宝塚市武庫川	55日間で	荒城重義さん
9/5	有峰東谷	→	10/10	大分県東国東郡姫島村	35日間で	荒城重義さん
9/5	有峰東谷	→	10/19	長崎県民の森	44日間で	荒城重義さん
9/11	黒部市僧ヶ岳林道	→	10/17	高知県室戸岬	36日間で	藤条好夫さん

(2) 県外で放蝶され当グループが再捕獲したもの なし

ふくろう通信15号に紹介しましたが、昨年5月魚津市で山口由紀子さんによってアサギマダラの産卵が確認されました。残念ながら羽化まで確認出来ませんでしたが、貴重な発見でした。

(事務局：富山県自然博物館ねいの里 担当 二宮)

里っこ山っこにっこに

私のジュニアナチュラリスト活動 森 修矢

平成21年5月5日「鳥が好きなの？」と、ねいの里のM先生に声をかけられたのが、ジュニアナチュラリストになるきっかけでした。以前から、よくねいの里へ来ていたのですが、この日は特別な日でした。M先生にシジュウカラの巣箱の中を見せてもらったのです。はしごに登って巣箱のふたを少しだけ開けてのぞきました。巣は丸くあみこまれていて、中にふわふわしたものがありました。

メスの親鳥が卵を温めていて親鳥は僕の顔をジーッとみつめました。「だれ？じゃましないで！」と見えているように見えました。僕はそっとふたをしめました。その時自分の廻りにいろいろな命があることを改めて強く感じました。ジュニアナチュラリストの講座があると知ったのもこの日でした。

講座を受講する前は、生き物の観察を中心にすると思っていましたが、植物や地形、天文についても学ぶことが出来ました。一番心に残っていることは「森は放っておかないで手入れをする」ということでした。人間と森はいつもかかわって一緒に生きてゆかないと植物や動物が減っていくということを知りました。講座を終了し、ジュニアナチュラリストに認定された時はとてもうれしかったです。ジュニアナチュラリストは自然全体のことを知り、それを生活に生かしたり、自分の周りの人たちに伝えてゆくことも大切な活動だと思いました。今年、ねいの里へ観察に来るほかに、学校の理科の時間に外来種の話をしたり飼育栽培委員会で自然へ親しみ、守る一員としてがんばっています。

◆ キノコ狩りとキノコ汁を愛でる (10月12日)

第25回となる「キノコ狩りとキノコ汁を愛でる」行事が行われました。この行事は毎年好評で今年も180名の参加がありました。天候にも恵まれ参加者はねいの里園内でキノコ狩りを楽しみました。採ってきたキノコは高島幸司氏、武田宏氏、伊藤春雄氏の3名の講師に食・毒・不食の判定をして頂きました。採取されたキノコは残念ながら、ほとんどが毒又は不食と判定されました。採取後参加者は13種類のキノコが入った美味しいキノコ汁を味わいました。

記 長谷川 覚



◆ クリスマスリース作り (12月5日) 参加者46名(大人29名 小人17名)

ねいの里展示館でクリスマスリースを作る行事が行われました。予め、フジやマンサクでリースの基本となる輪を作り、ねいの里園内で採集したり、持ち寄ったりした飾り用の木の実や枝を用意しました。当日は色とりどりの材料が華やかに山積みされ、参加された皆さんの目を見張らせました。自然の素材は色も形も美しく面白く、創作意欲をかき立てられます。担当者の注意や説明の後、親子や御夫婦で材料選びや色合いなど相談したり、子供達も自由な発想で思い思いに取り組み、2時間余りでそれぞれ素晴らしいクリスマスリースが出来上がりました。最後に自信作を手し、笑顔で記念撮影をして終了しました。

記 菅野 紀子



毎月第1土曜日が活動日です。

塾の会活動日のうち、ねいの里との共催行事には準備の都合上参加予約が必要です。
 お気軽にねいの里へお越しください! (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)
 昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏を囲んでわいわい楽しくおしゃべりし、
 食べましょう。

1月23日(土)	2月6日(土)
○ 午前9:30時 ~ 12時 ・雪遊びと冬の自然観察 子供達を対象にねいの里で色々な雪遊びと大人は自然観察を行います。 事前に申し込みが必要です	○ 午前9:30時 ~ 12時 ・カンジキハイクで野鳥観察 野鳥の園でカンジキハイクをしながら野鳥観察を行います。 事前の申し込みが必要です
参加者/定員 25名	定員なし

~ねいの里行事予定 案内~

1月4日(月) ~ 6日(水)	3月14日(日)
○ 午前9:00 ~ 17:00 ・春の七草頒布 事前に申し込みが必要です。 (定員は先着 200名)	○ 午前9:00 ~ 12:00 ・春一番の生き物(自然塾と共催) ホリクサショウウなどの春の生き物を観察します。 終了後「自然塾の会」総会を行います。 事前に申し込みが必要です

■ 特別展示

12月 7日 ~ 1月15日 春の七草実物展
 12月17日 ~ 3月18日 自然塾の会写真展

~ 新しいこいの村発足 ~

近く、いこいの村が新に氷見の民宿イソップの経営によりリニールオープン致します。それに伴い旧いこいの村駐車場の一部に、ねいの里駐車場(無料)が新設されます。ねいの里来園時には利用して下さい。ナチュラルリスト駐車場も従来通り許可された車両のみは利用できます。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

新年あけましておめでとう御座います。ねいの里今年もよろしくお祈りします。

ふくろう先生に



今日のふくろう先生は

長谷川 澄代さん
 (富山県 ナチュラリスト)



自然博物館ねいの里について思うこと

ねいの里は富山市中心部から、車で30分ばかりという短い時間で行ける事が、とても利用者にとってありがたいことです。園の中にはいろいろな観察コースがあり、大人も、子供も散策するにはとてもよい博物館です。特に小学生くらいまでの子供達に、この施設で観察会などを行い、様々な生き物達が、お互いに関わりをもって生きていることを体験してもらうにはとてもいい環境だと思います。

特に水辺の観察コースは、大人も子供も、たくさんの種類の生き物(動植物)がいて、わくわく、どきどきする出会いがあります。毎年小学生の遠足(観察会)などで、利用されていると思いますが、出来るだけ学校ぐるみで、年間を通して(春、夏、秋)の楽しい観察会があれば、子供達の自然に関する関心が高まり、理科好きの子供達が増えるのではないのでしょうか。

最近、とても気になることがあります。20年ほど前に結構当たり前に見られた植物の種類がかなり減少したように思われます。ここ数年、自然志向でねいの里を訪れる人が増えたのはとても良いことだとは思いますが、中には珍しいということで、物言わぬ植物を、拉致、誘拐してゆく人がいるのではないのでしょうか。生き物を愛するというより、自己中心的に、自分の廻りに珍しい植物などをどうしても置っておきたいとヒトがいるのではないかと考えられます。来園者の方々には、自然愛好者ではなく、自然保護者としての意識をしっかりとっていただくといいですね。せつかく環境教育を行う場としてのねいの里が、一部のこころない人たちによる生物(植物、動物)達の採取場所にならないようにと願っています。

ジュニアナチュラルリスト 水辺の観察会

